

福島縣



旧亀岡家住宅
(国重文、福島県伊達市)



福島・岡山県技師 江川三郎八と江川式建築

ートラスが繋ぐ、福島・岡山県近代建築群の世界ー

江川三郎八 (江川啓久氏蔵)

旧遷喬尋常小学校校舎
(国重文、岡山県真庭市)



岡山縣

助成／



公益財団法人 福武教育文化振興財団

江川三郎八について

江川三郎八は、明治から昭和にかけて、福島・岡山両県の建築界で活躍した人物です。会津藩士江川家の三男として、万延元年（1860）、現在の福島県会津若松市に生まれました。幼くして父を病気で亡くし、さらに長兄を戊辰戦争で失った三郎八は、13才で遠縁の大工棟梁へと弟子入りし、堂宮大工の技術を習得します。

明治20年（1887）に福島県に採用され、建築技師として活躍、そして同35年には、岡山県へと転任し、同県でも様々な建築を手がけています。その建築作品には、県会議事堂や郡役所・警察署などの官公庁をはじめ、学校、神社、病院、洋式橋と幅広く、大正12年（1923）の県庁退職後も、各方面からの委嘱を受け、金光教本部の造営や、天満屋（木造3階建）などの商業建築、個人住宅の設計に携わり、今も多くの建築が現存しています。



福島県庁（現・福島市杉妻町）



岡山県庁（現・岡山市北区天神町）

現存する主な江川式建築

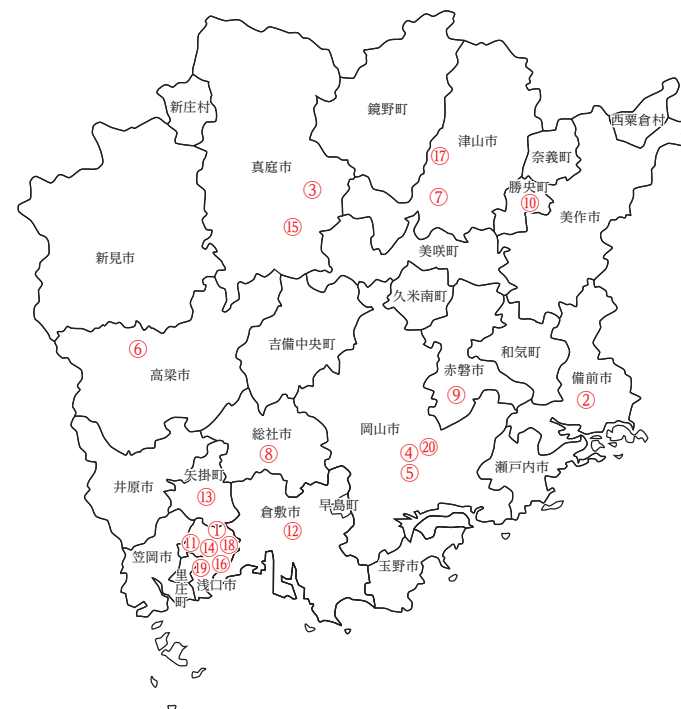
福島県

名称	旧名称	所在地	建築年代	指定
① 旧亀岡家住宅	亀岡家住宅	伊達市	明治37年(1904)頃	国重文
② 丹羽家御霊屋	—	二本松市	明治23年(1890)	

岡山県

名称	旧名称	所在地	建築年代	指定
① 金光学園中学・高等学校記念講堂	金光中学校講堂	浅口市	明治37年(1904)	国登録
② 閑谷学校資料館	閑谷養本館	備前市	明治38年(1905)	国登録
③ 旧遷喬尋常小学校校舎	遷喬尋常小学校本館	真庭市	明治40年(1907)	国重文
④ 旭東幼稚園旧園舎「八角園舎」	旭東小学校附属幼稚園舎	岡山市	明治41年(1908)	国重文
⑤ 萬歳山國清寺清光苑	旭東小学校校舎	岡山市	明治41年(1908)	
⑥ 旧吹屋小学校本館	吹屋尋常高等小学校本館	高梁市	明治42年(1909)	県指定
⑦ 作州民芸館	土居銀行津山支店行舎	津山市	明治42年(1909)	国登録
⑧ 総社市まちかど郷土館	総社警察署庁舎	総社市	明治43年(1910)	国登録
⑨ 螢學舎	赤坂尋常高等小学校校舎(旧誕生寺小学校管理棟並びに講堂)	赤磐市	明治43年(1910)	
⑩ 旧勝央町郷土美術館	勝田郡役所庁舎	勝央町	明治45年(1912)	国登録
⑪ 姫井家住宅	姫井医院	浅口市	大正3年(1914)	国登録
⑫ 倉敷市歴史民俗資料館	倉敷小学校附設幼稚園舎	倉敷市	大正4年(1915)	国登録
⑬ 県立矢掛高等学校明治記念館	矢掛中学校明治記念館	矢掛町	大正4年(1915)	
⑭ 定金家住宅主屋	定金歯科医院	浅口市	大正6年(1917)	国登録
⑮ 木山神社拝殿及び善覚稲荷神社	—	真庭市	大正8年(1919)	国登録
⑯ 金光教徒社	—	浅口市	大正10年(1921)	国登録
⑰ 中山神社拝殿及び神楽殿	—	津山市	大正11年(1922)	
⑱ 金光教修徳殿	金光教修徳殿	浅口市	大正15年(1926)	
⑲ 金光教教学研究所	金光教教義研究所客殿	浅口市	昭和5年(1930)	
⑳ 三敷神社本殿	三敷神社御霊屋	岡山市	昭和7年(1932)	

※このほか、清澄家住宅（明治41年、早島町。旧若原眼科医院）、備前福岡郷土館（大正3年、瀬戸内市。旧平井医院）、永井家住宅主屋（同5年、和気町。国登録）、倉敷館（同6年、倉敷市。旧倉敷町役場、国登録）、河野美術館（同年、津山市。旧河野医院）など、江川自身が設計したか、影響を受けた可能性のある建築が、岡山県下に多く存在しています。





旧金光中学校講堂 (1904)



旧関谷巖本館 (1905)



旧旭東小学校附属幼稚園舎 (1908)



旧吹屋尋常高等小学校本館 (1909)



旧土居銀行津山支店行舎 (1909)



旧総社警察署庁舎 (1910)



旧赤坂尋常高等小学校校舎 (1910)



旧勝田郡役所庁舎 (1912)



旧倉敷小学校附設幼稚園舎 (1915)



旧矢掛中学校明治記念館 (1915)



旧定金歯科医院 (1917)



木山神社拜殿及び善覚稲荷神社 (1919)



中山神社拜殿 (1922)



旧金光教仮神殿 (1926)



旧三勲神社御霊屋 (1932)

江川式建築の世界 —福島・岡山県の近代建築の系譜—

※江川が建築に携わった建築から、図版の存在するものについて、適宜掲載しました。



福島県師範学校 (1888)



安達郡役所 (1889)



丹羽家御霊屋 (1890)



須賀川橋 (1892。写真は再架橋か)



会津中学校 (1894)



郡山金透小学校 (1894)



藤橋 (1895、写真は再架橋か)



信夫橋 (1896)



河沼郡役所 (1899)



坂下警察署 (1899)



福島県会議事堂 (1899)



伊佐須美神社 (1900)



福島大林区署カ (1901、のち福島市役所)



種馬飼養場 (1901)



磐城中学校 (1901)



本宮小学校 (1901)



大日本武徳会福島県支部武徳殿 (1902)



日本赤十字社福島支部 (1902)



福島高等女学校 (1903)



岡山県立工業学校 (1902)



岡山高等女学校 (1902)



津山高等女学校 (1902)



岡山県水産試験場 (1903)



豊岡警察署 (1903)



石井警察署 (1904)



岡山警察署 (1905)



宇野築港事務所 (1906)



津山警察署 (1907)



岡山県戦捷記念図書館 (1908)



旭東尋常小学校 (1908)



岡山県教育会 (1908)



加美尋常小学校 (1908)



笠岡町立商業学校 (1908)



勝山警察署 (1908)



八浜尋常高等小学校 (1908)



岡山県農会 (1909)



岡山県会議事堂 (1909)



児島郡立商船学校 (1909)



清輝尋常小学校 (1910)



清輝尋常小学校附属幼稚園 (1910)



大本宮御在所 (1910)



岡山県師範学校 (1910)



岡山水上警察署 (1910)



大日本武徳会岡山支部武徳殿・事務所 (1911)



天城中学校 (1913)



井原幼稚園 (1914)



岡山県官祭招魂社 (1914)



中国六県連合畜産馬匹共進会仮建築 (1915)



英田郡役所 (1916)



興讓館中学校 (1916)



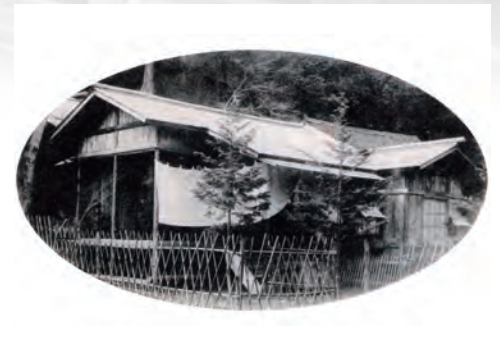
西大寺町役場・公会堂 (1917)



津山商業学校 (1920)



岡山県病院 (1921)



中山神社御仮殿 (1921)



金光教大教会所本殿・祖霊殿 (1922)



岡山県立図書館 (1923)



勝山中学校 (1923)



岡山県農事試験場 (1925)



天満屋本館等 (1925)



三勲神社 (1932)

江川三郎八年譜

元号	西暦	年齢	事項
万延元	1860	1	10月10日、会津藩士江川宗之進広伴の三男に生まれる。
明治3	1870	11	兄の次郎八、白虎隊に加わり戦死。会津戦争に敗れたため、一家3人で青森県の斗南に移る。
明治6	1873	14	廃藩置県で会津に戻る。母チヨから大工となり、官に仕え家を再興せよと諭され、棟梁山岸喜右衛門に師事。
明治16	1883	24	この年まで堂宮建築を学ぶ。
明治18	1885	26	給料取りとなり、土蔵造りなどに励む。常子と結婚。
明治20	1887	28	福島県庁技術者に推薦され、師範学校の建築工事起工設計手伝役となる。山口半六に学ぶ。尋常師範学校・同中学校の建築工事見廻りとなる。長男守衛が誕生。
明治21	1888	29	福島県営繕係、尋常師範学校建築委員となり、県庁の役人となる。
明治22	1889	30	福島町に引越し、建築予算調整の任にあたる。栗子橋の工事を監督。
明治23	1890	31	安達郡役所を改築。旧二本松藩主・丹羽子爵祖先御霊屋を改築。
明治24	1891	32	辞表を出すのが却下され、思い留まる。福島監獄若松出張所に病監を建築。県有建築物図面台帳を作成。
明治25	1892	33	福島県技手となる。須賀川～石川町の県道を実測する。岩瀬郡役所・同郡会議事堂を設計・監督。
明治26	1893	34	家族と共に会津若松に戻る。西部土木監督所所属工事を監督。幸平橋（フィンクトラス構造）工事を監督。道路改良工事に従事。
明治27	1894	35	藤橋（「フィンク」「ハウ」混合構造）を設計。
明治29	1896	37	信夫橋、大沼郡役所を改築。藤橋と小野川橋工事に着手。
明治30	1897	38	大蔵省より若松葉煙草取扱所新営現場監督に任じられる。母チヨが逝去。会津中学校を増築。
明治31	1898	39	東京で大蔵省建築部長妻木頼黄に面会。内務省技師伊東忠太の指導を受ける。平町・相馬郡中村町の中学校設計に従事。国幣中社伊佐須美神社殿を設計。
明治32	1899	40	議事堂・神社の工事を開始。東白川郡役所・河沼郡役所・河沼警察署の設計監督に従事。
明治33	1900	41	林区署新築設計工事監督に従事。伊佐須美神社が竣工。
明治34	1901	42	文部省主催学校建築講習会を受ける。久留正道や三島通良から講義を受ける。第一・第二中学校の改築・新築起工設計に従事。新設高等女学校・工業学校・中学校を設計。江川式小屋組（トラス）に挑戦。
明治35	1902	43	福島県工手となる。岡山県に転任し、岡山県技手、工手となる。矢掛中学校・岡山県立工業学校・高梁中学校・津山中学校を増築。
明治36	1903	44	福島高等女学校、豊岡警察署、岡山県水産試験場、岡山県立高等女学校講堂・雨天体操場、津山高等女学校が竣工。
明治37	1904	45	日露戦争のため工事が先送りとなる。県工師となる。

元号	西暦	年齢	事項
明治38	1905	46	閑谷費本館を改築設計。山陽高等女学校を増築。
明治40	1907	48	津山警察署、笠岡町立商業学校、遷喬尋常小学校が竣工。
明治41	1908	49	児島郡立商船学校設計工事を監督。
明治42	1909	50	妻常子が逝去。吉備津神社御仮殿を造営。
明治43	1910	51	特別大演習事務委員営繕係として後樂園各舎大修繕の任にあたる。清輝尋常小学校附属幼稚園を設計。金光教大教会所・附属神舎建築の顧問となり、着工。
明治44	1911	52	大日本武徳会岡山支部武徳殿・事務所が竣工。
明治45	1912	53	岡山医学専門学校生徒控所兼臨床講義室を設計。勝田郡役所が竣工。
大正2	1913	54	天城中学校を設計、工事を監督。
大正3	1914	55	岡山県官祭招魂社の移転改築設計工事を監督。岡山県技師叙高等官となる。健康を理由に依願退職するが、工師級として職務を継続。
大正4	1915	56	第7回中国六県連合畜産馬匹共進会事務委員となり、仮建築に従事。
大正5	1916	57	笠岡・井原警察署を改築。英田郡役所を建築。
大正6	1917	58	勝間田警察署を改築。石井警察署を増築・改造。
大正7	1918	59	岡山県物産共進会事務委員となり、仮建物の建築工事に従事。岡山県病院改築工事を受け継ぐ。
大正8	1919	60	岡山県病院建築主任となる。郡立私立中等学校県営移管新営の大予算調査に従事。
大正9	1920	61	津山商業学校が竣工。
大正10	1921	62	岡山県史跡名勝天然記念物調査員となる。笠岡商業学校・順正高等女学校・天城中学校などの増築工事に従事。
大正11	1922	63	千葉・長野・神奈川などの農業試験場を視察し、岡山県立農事試験場を改築設計。
大正12	1923	64	県立図書館改築工事に従事。12月21日、岡山県を退職。
大正13	1924	65	自伝「生立ちの記」を起稿。
大正14	1925	66	岡山県立農事試験場、天満屋百貨店が竣工。
大正15	1926	67	天満屋百貨店西館を増築。金光教仮神殿が竣工。
昭和2	1927	68	商店建築や和洋折衷住宅を設計。
昭和3	1928	69	金光教本部復興造営部技師となる。
昭和4	1929	70	古希を祝う。自伝『生立ち之記』を上梓。
昭和5	1930	71	金光教教義講究所客殿が竣工。
昭和7	1932	73	三敷神社を改築。
昭和14	1939	80	1月17日、逝去。

発行日 平成30年3月31日

発行 江川三郎八研究会 代表 難波好幸

事務局 〒719-3201 岡山県真庭市久世1812 森 俊弘

印刷 株式会社みつ印刷

助成／



公益財団法人 福武教育文化振興財団

『福島・岡山県技師 江川三郎八と江川式建築』は、公益財団法人福武教育文化振興財団から助成をいただき作成しました。